

# 「元氣の家」で

## 素材の持つ本来の機能を

### 家づくりにも生かす

国産材を使い、伝統工法十バネル工法で、坪単価50万円以下の「住む人が安心して健康に暮らせる家づくり」を提唱している工務店がある。神奈川県愛甲郡にある「民家工房・常栄」がそれである。

「そこに住む方々が、安心して健康に暮らすことができ、かつローコストの家を提供したい」と思い、日々努力しています」と言う山本常栄社長は、熊本県水俣市生まれの57歳。先代で父の栄氏(76歳)の元で、小さい頃から大工仕事に接し、若い頃は叔父が経営する新聞販売業に従事していたが、交通事故で半年治療し、24歳で故郷へ戻り、地元不動産の時(昭和48年)大工

業に立ち返り修業をしながら。昭和63年9月常栄建設を設立、平成14年より下請けから元請けへ転換し、国産材を使い、より良くより安い住宅を提供できるように原価公開し「原価十利益」を公約(マニフェスト)として主に掲げることで信頼と安心を約束している。平成16年民家工房常栄と社名変更した。

山本社長は福祉住環境コーディネーターとシックハウス診断士2級の有資格者。山本社長は、バブル経済期までは、地元の不動産業者などとタイアップして住宅を量産したが、それでは忙しすぎない、地元不動産業者の計画倒産など

で、更りなき繁忙も味わった。それで今では、元請けに徹している。「元氣の家」とは、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという

# 私の工務店 経営

神奈川県愛甲郡半原 (有)民家工房・常栄



山本社長(左)と設計の小菅孝氏



着工中の「元氣の家」(上2つ)と内部(下2つ)

会社概要  
本社=〒243-0307 神奈川県愛甲郡半原1523-4 電話046・281・5585 FAX兼用。http://www.jyouei.co.jp  
設立=昭和63年9月 代表取締役社長=山本常栄 資本金=300万円 年間着工棟数=4棟 木造新築=100%、これまでの「元氣の家」新築棟数=4棟 年商=0.7億円 従業員数=2名



「元氣の家」外観(平成18年3月竣工、神奈川県厚木市、設計=小菅孝氏)

# 経営

伝統的な木組みの技を生かした注文住宅は、都市近郊では見かけられなくなった。これを低価格で実現しようという試みは、大手指の工務店経営では難しいことだ。地場工務店の生き残り策としては、質の高い木造住宅を提供し続けることに違いない。その意味で、今回ここで取り上げた民家工房・常栄の取り組みは注目できる。さらなるネットワーク化で、多くの消費者に木造や自然素材による

「元氣の家」は、市場に出回る多くの建材の中から、人間が長い間暮らしてきた「元氣」の状態に戻すために必要な伝統的素材を厳選し、素材の持つ本来の機能を健康のために役立てたいと考え「元氣」に戻すという